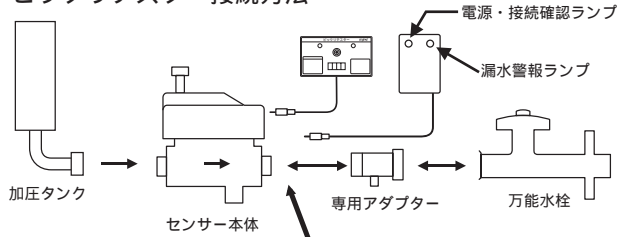
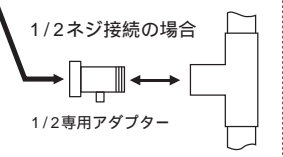


ビックリテスター接続方法



各々を図の様に接続して下さい
 * テストロッドを開いた状態で
 加圧タンクを垂直に取り付けて下さい
 * 接続終了後万能水栓を開いて下さい
 * サービスプラグ等に取り付ける場合で
 加圧タンクが垂直にならない場合は
 フレキ等を利用して接続して下さい



検査開始後ランプが点灯した場合の漏水量の目安
 (上水圧0.3MPaの場合)

1分以内	点灯	毎分0.6cc(7~8秒に一滴)以上の漏れ
3分	"	毎分0.2cc(20~25秒に一滴)"
6分	"	毎分0.1cc(40~50秒に一滴)"
10分	"	毎分0.06cc(80~90秒に一滴)"

！注意

水道の元栓が完全に閉まっていない場合、正確な検査ができません。下記の方法で元栓のチェックが出来ます。完全に閉まっていない場合は付属の専用止水栓をご使用下さい。
 HWR101BTN・201BTNタイプには専用止水栓は入っていません。

・水道元栓チェック方法

- 1 ビックリテスター（テストロッドは開いた状態）接続後、水道の元栓を開いて配管へ水を送り込みます。
- 2 水道の元栓を開けてからビックリテスター専用アダプターに付いているドレンより20cc～50cc位、配管内の圧力が、0MPaにならない程度水を出します。
- 3 ビックリテスターのテストロッドを閉め再度ドレンより数滴水をを出しますとリーク赤ランプが点灯します。点灯した時点でドレンは閉めて下さい。
- 4 点灯したリーク赤ランプが1分以内に消灯した場合は元栓が完全に閉まっています。

専用止水栓取付部品・方法

メーター継手 13mm
 金門上水ネジ兼用

両面100mm

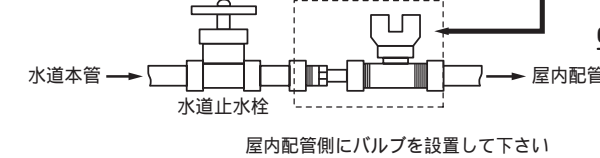


両面165mm



メーター継手 20mm
 金門又は上水ネジ

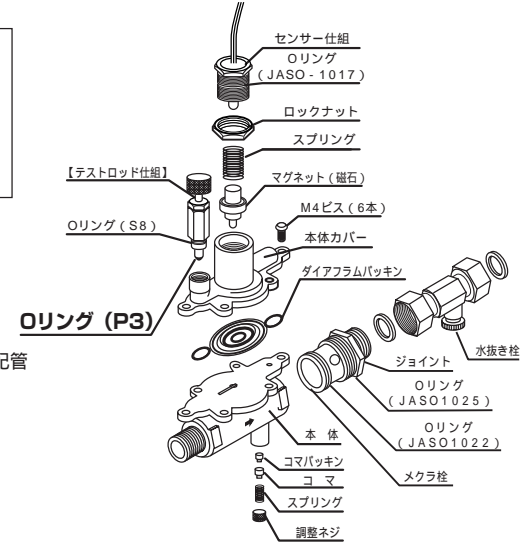
両面190mm



屋内配管側にバルブを設置して下さい

使用されている水道メーターを取り外し、それぞれの面間、ネジ径にあった面間シャフト、継手を使用してメーター部に取り付けて下さい

ビックリテスター部品展開図



作動確認方法

検査開始直後ドレンより6～7滴、水を出してリーク赤ランプが点灯すれば正常に作動しています。点灯しない場合はOリングパッキンが消耗している可能性があります。この場合ビックリテスター部品展開図の中のOリングP3を交換して下さい。表示器の電源ランプがジャックに差込んでも点灯しない場合は裏ぶたを開けて電池(単4電池2本、タイマー付は単4電池4本)を交換して下さい。



注意

新築既築に限らず検査前にお湯を使用してしまうと、温度変化により圧力が一定せず誤作動が起きる場合があります。お湯を検査前に使用した場合、全給湯の蛇口を開き2～3分、水を流して下さい。

ビックリテスター接続ヶ所及びドレン弁、万能水栓の上部ナットより水もれがないか確認して下さい。

検査の際、ビックリテスターに直射日光があたる場合タオル等で覆って直射日光があたらない様にして下さい。

電気温水器、ソーラーシステム等蓄熱槽タイプの給湯器を使用の場合は、タンク内にお湯が入っている時は誤作動によりランプ点灯する場合がありますため、検査時間を5分程度で終えて下さい。毎分1cc前後のもれ感知できます。但し検査前にお湯を使用している場合は毎分5cc以下の微もれ検査は出来ません。

